キャラクター名: 館守 ほのり（たてもり ほのり）

プレイヤー名:

シンドローム	オルクス サラマンダー	ワークス	FHマーセナリー	カヴァー	図書館司書
オプショナル		年齢	25	性別	女
覚醒	渇望	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	疎まれた子	経験	喪失	邂逅	欲望：従属

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2		0			2
感覚	1		0			1
精神	2		3		1	6
社会	3		0			3

HP	30
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	3		交渉		
回避			知覚	1		意志	4		調達		
運転：			芸術：			知識： 図書	2		情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
千夜の縛め（ｱﾙﾌ･ﾗｲﾗ）		0				《ﾃﾞｨｸﾀﾄﾙ》使用時はﾀﾞｲｽ-2,与ﾀﾞﾒｰｼﾞ+10
10dx@8+3	ＲＣ	10r+3		5		1+2+3+4
11dx@8+3 (60%)	ＲＣ	11r+3		5		1+2+3+4
12dx@8+3 (80%)	ＲＣ	12r+3		5		1+2+3+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
携帯電話	
思い出の一品	
情報収集チーム	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
黄金領域（エリュシオン）	P	N		
両親	P 執着	N 忘却		
義理の両親	P 感謝	N 〇悔悟		
シナリオ：築城 紗代	P 好意	N 猜疑心		
RHO：狗雷 マリ	P 庇護	N 恐怖		
海陸 空（みずち なる）	P 好奇心	N 脅威		
柏梓 文乃（はくし あやの）	P 傾倒	N 不安		

最大財産P: 6	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ディクタトル	1	3	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果：	ﾗｳﾝﾄﾞ中,ｵﾙｸｽのｴﾌｪｸﾄを組み合わせた攻撃のﾀﾞﾒｰｼﾞ+10							
コンセ：オルクス	2	2	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：	C値-LV（下限値7）							
アニマルテイマー	3	3	Maj / Re	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：	ダイス+[LV+1]							
大地の加護	2	2	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：	攻+[LV*2]							
棘の縛め	1	1	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果：	攻+[LV]の射撃攻撃。与ﾀﾞﾒｰｼﾞ時硬直付与							
プラズマカノン	2	4	メジャー	視界	単体	RC	100%↑	
効果：	攻+[LV*5]の射撃攻撃							
炎陣	★	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ﾀﾞﾒｰｼﾞﾛｰﾙ直前に使用、ｶﾊﾞｰﾘﾝｸﾞを行う。行動済にならず、行動済でも使用可能							
氷盾	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード時G値+[LV*5]							
テレキネシス	★	-	メジャー	視界		自動	-	
効果：	ｼｰﾝ内の物品1つを任意の場所に移動する。誰かが装備しているものは不可							
快適室温	★	-	メジャー	至近		-	-	
効果：	シーン内の気温を快適に調節できる							
効果：								
効果：								
効果：								

N/ハンドアウトPC②：FHマーセナリー
ワークス/カヴァー：FHマーセナリー/指定なし
ロイス：築城紗代
推奨感情　P:好意/N:猜疑心
元UGNエージェント兼エンジニア、現FHエージェントである築城から呼び出される。
「10年前、生死不明だったあの子の目撃情報があったから、確認して欲しい」
と依頼が入る。
同志である築城の頼みを断わるわけにもいかない君は、仕方なく話を詳しく聞くことになる。

使用ルルブ：基本,EA,LM,PE

柏梓文乃が館長を務める私立図書館で司書として働いている女性。物静かで、感情の起伏が少ない。
FHセル「無限の書架」のメンバーでもある。
（厳密にはメンバーではなくマーセナリーだが、文乃のそばを離れないため、実質メンバーのようなものである）
1年前に文乃と出会い、本が好きだったことから雇われ、オーヴァードであることも分かってからは表裏共に協力している。

拾われるまでの経歴は不明。
「両親に捨てられ、拾ってくれた義理の両親は亡くした」とだけしか語らない。
一部の記憶もなくしているようだ。
今は「文乃さまのそばにいられれば、囲ってもらえれば」を欲望とし、彼女に絶対的に、盲目的に従っている。

戦闘は陣を展開するイメージ。